

拝啓、毎回全く同じ冒頭文で申し訳ありません。その理由をご推察の通りです。弊社所轄の警察当局が「天皇陛下のご命令です」と明言して、もう何年も前から毎月欠かさず、私の健康状態の確認面談をし続けてくれています。

この手紙は、そんな特別な人間が認めてお届けしているものです。

何たる戯言かと読み流さずに、ほんの少し心してお読み頂ければ幸いです。

さて本題です。貴方は「人間とは何か」「人生とは何か」「幸せとは何か」これら三つの質問に、どれか一つでも明答出来ますか。

今や八十億人にもなった人類ですが、実はこの明答を誰一人知らないのです。しかしいつごろ誰が言い出したのか、明答ならぬ迷答なら在ります。

「人間とは、実に不可解な生きものである」「人生とは、富や名声の追求競争である」「幸せとは、富や名声を獲得すれば手に入るものである」等々です。

貴方も、そう思い込まされてはいませんか。

平成時代の初めごろ、縁有って「環境問題の重大性」に目覚めた私は、その抜本的解決策を模索する過程でこれらの迷答に出会い、また明答を発見したのです。

全人類がこれら迷答を信じ、明答を知らない故の「環境問題」であり、間もなく一万年にもなりなるとする、真実悲惨な「戦争に次ぐ戦争の人類史」なのです。

私が徳仁天皇に、三十年以上も直訴し続ける「人類根本救済」とは、日本国天皇による、これら明答の国際的開示に他なりません。

英邁無比な徳仁天皇です。「機」さえ熟せば必ずご断行頂けるはずです。だからこそその冒頭文に記した一連の事実なのです。皆様どうぞご期待ください。